

氏名	渡 辺 直 樹
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第1421号
学位授与の日付	平成8年3月25日
学位授与の要件	医学研究科外科系腫瘍免疫学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Localization of TCR- $\gamma\delta$ + T cells into the human colorectal cancer: Flow cytometric analysis of TCR- $\gamma\delta$ expression in tumor infiltrating lymphocytes (TCR- $\gamma\delta$ T細胞のヒト大腸癌内浸潤: 大腸癌腫瘍浸潤リンパ球における、TCR- $\gamma\delta$ 発現のフローサイトメトリーによる分析)
論文審査委員	教授 中山 睿一 教授 赤木 忠厚 教授 清水 信義

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

大腸癌患者13名より末梢血リンパ球(PBL)、正常組織内リンパ球(IL)、腫瘍浸潤リンパ球(TIL)を分離し、主にそのTCR- $\gamma\delta$ の発現に関してflowcytometryをもちいて解析を行った。腫瘍反応性に浸潤を示しているのは主にTCR- $\alpha\beta$ 陽性細胞であり、TCR- $\gamma\delta$ 陽性細胞の選択的なヒト大腸癌腫瘍組織内へのaccumulationは見られないことが明らかになった。またそのphenotype分析において、正常組織と腫瘍内ではTCR- $\gamma\delta$ 陽性細胞にほとんど変化がないことから、TCR- $\gamma\delta$ 陽性TILはTCR- $\gamma\delta$ 陽性IL起源であることが、強く疑われた。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

### 論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、大腸癌腫内浸潤リンパ球のTCR発現について検討した、はじめての報告である。 $\gamma\delta$ T細胞は腸管に特異な分布をするが、腫瘍反応性に浸潤しているのは $\alpha\beta$ T細胞であり、 $\gamma\delta$ T細胞ではないことを明らかにした。この知見は、腸管 $\gamma\delta$ T細胞の機能について重要な示唆を与えるものであり、価値ある業績であると認める。よって本研究者は、博士(医学)の学位を得る資格があると認める。